

歴史の道【白木峠】案内図

駐車場から約60分。下りは約40分

白木峠について(各種文献から)

①「義経記」の「吉次が奥州物語の事」の節

十世紀の前九年の役に、羽後国仙北郡の金沢の城を落とす源義家が安倍貞任を追って、白木峠を越えた。

②「邦内郷村志」の白木峠の項

道は甚だ険阻で容易ではない。さらに南の奥郷には平坦な往来道の秀衡街道があったが、遠距離なので後世に白木峠を通る道を開いた。

③「澤内風土記」

険しくて越えるのに甚だ難儀をする。道は狭くてすれ違おうがやっこ。駕籠は通れないし、荷物を積んだ馬は通れず、馬に乗って通ることもできない。しかし、牛だけは荷物を積んで上り下りすることができた。

⑤ ふきどり地蔵尊 1.2km

寛政6年(1794年)の冬に秋田県穴郷馬街、沢野権之助という人がふきどり(吹雪で遭難すること)し死亡したことから、その供養のためのお地蔵様と伝えられています。

④ 牛泊まり 0.64km

昔は、牛の背に荷物を乗せて運んでいました。ここは、その牛の隊商が休んだ休憩地だったといわれています。

② 越中畑御番所跡

藩政時代に、南部藩の西の藩境を守る関所の一つとしておかれた越中畑御番所の跡です。「貞享3年、1686年11月18日、越中畑に御番所が置かれ、それ以前は、太田村(現沢内地区)と山回村(北上市和賀町)に御番所がありましたが、ここが出来たので廃止されました。明治2年(1869年)にここも廃止しました。近くにある碑は、天保2年(1831年)に御番所役人だった井上澄志が、内室お時の供養のため建てたものです。

③ 澤口神社の大杉

推定樹齢300年以上の大木で、平成9年7月には、町の天然記念物に指定されました。

白木峠
601.6m

1.6km
一本杉

越中畑公民館

牧場

至北上(川尻)

頂上まで
2.72km

③

②

⑤

④

ユキツバキ群生地

お時の供養碑

越中畑川

越中畑小学校跡

岩手県(南部藩)

秋田県(佐竹藩)

約300m(5分)

国道107号

白木峠案内看板

① 高原プラザ(白木峠案内所) ☎82-3633

産直施設です。営業期間、時間については、西和賀町観光協会にお問合せ下さい。電話:0197-81-1135

JR北上線

至横手

● ハイキングのマナー ●

- ① むやみに花を折ったり、掘り取ったりしない。
- ② ゴミは必ず持ち帰ってください。
- ③ 大きな声や音を出さない。
- ④ 登山道、遊歩道から外れて歩かない。
- ⑤ 野外の観察に適した靴・服装にする。

気をつけよう!

⑥ 五輪塔

弘化2年(1845年)、秋田県南部からお伊勢参りの一行が、白木峠で、全員遭難したことが伝えられています。その供養に、五輪塔が建てられています。ここから白木峠の頂上まで、約20分。

お問合せ：西和賀町観光協会

TEL 0197-81-1135 FAX0197-81-1136